

# 男長

## ひとつぐと

(41)

齊藤 讓

町民の皆さまのご支援により、引き続き町政を担当させて頂いていただくことになった。まことに有難く、また光栄に思う。その反面で、責任の大きさと重さを痛感している。とに角、活力と調和のとれた町づくりを力いっぱい推進し、町民の皆さまのご期待に応えてゆかなければならないと、深く肝に銘ずるところである。

▼ところで、この「ひとりごと」も、皆さまにご愛読いただき、また励まされて、今までに四十回の連載をさせていただいてきた。

いまこれらを読み返してみると、中にはあまりにもお粗末で、冷汗のするようなものもあるが、どれも私にとっては、自分が歩んできた四年間の足跡を見る思いがする。

常に読者の皆さんに、目方を計られているという意識が先になたつて、つつい力が入りすぎたり、多忙に追われて筋

道の通らないものも書いたりしたが、上手、下手は別として、折々の卒直な気持ちを書いたことだけは確である。これからも、心を新たに書き続けさせていただきたいと思っている。

▼話は変わるが、昨年从今年にかけての新聞、テレビ等の国際報道は、東欧諸国の民主化や東西ドイツの統一の動き、ソ連バルト三国の分離独立問題に終始していると言つても言い過ぎではない。特に最近、これらの諸国が新たな政治、経済の仕組を構築する過程で生じている、深い、混乱の姿を生々しく報じている。まさに彼等は、自国の将来の命運を賭した歴史の一大転換期に立って、いま命懸けで苦闘しているのである。

この大改革の成否こそが、二十一世紀の国際社会の平和の鍵を握るものであり、延いて

はわが国の安全や発展にも、大きな影響を及ぼすことは間違いないことである。従つて、これら諸国の改革は、是非でも、成功させなければならぬことである。

経済大国日本は、その一翼を積極的に担つてこそ、世界の発展に貢献し、自身の平和と発展の保障を得る道であり、且つまた、日本が真の大国となり得る絶好の機会でもあると思う。

今こそ、世界から冷戦の禍を

### 挑戦者

はわが国の安全や発展にも、大きな影響を及ぼすことは間違いないことである。従つて、これら諸国の改革は、是非でも、成功させなければならぬことである。

経済大国日本は、その一翼を積極的に担つてこそ、世界の発展に貢献し、自身の平和と発展の保障を得る道であり、且つまた、日本が真の大国となり得る絶好の機会でもあると思う。

今こそ、世界から冷戦の禍を

いるのであろうか。私には、現在開会中の特別国会の姿を見る限り、とてもそうは思えない。二進も三進も立ちゆかない現在の政治状況の中にあつて、各政党は依然として面子だけとられて協調性を欠き、消費税問題でもいたずらに不毛とも思える議論に終始し、あげくの果てには、二カ月が過ぎて未だ本年度の国家予算が決まらないという無責任極まりない為体である。

慷慨の念一入である。与野党問わず不眠不休をしてでも、英知を寄せあい、勇気をもって内外の諸問題に対して決断し、実行を固めることこそが、選良としての重い責務であろう。

▼曾て、わが国の近代黎明期の先人は、西欧に追いつけ、追い越せを合い言葉に、血の出るような努力を積み重ねて、今日の日本の基礎を造つた。幾度かの戦火の過や、尊い犠牲のうえに、いまの繁栄を築いてきた。しかし、世界を見渡せば、日本は知らず知らずのうちに、一頭地を抜き出たのであつたのである。最早、

西欧に追いつけ、追い越せの観念や社会の枠組は、国際社会の中では通用しないものとなり、新たな国際協調関係とリーダーとしての役割が、いま強く求められているのである。

世界情勢は、激しい渦を巻き、国内にあつては、世界に例をみない高齢社会が超スピードで進行しているのである。

わが国の政治には、一瞬たりとも無駄に費す時間は残っていないはずだ。国民もまた、飽食の悪夢から醒めて、先人が流したと同じ血と汗を流して、本物の豊かな社会を再構築しなければならぬ時である。

▼「衣食足りて礼節を知る」という中国の古い言葉がある。ところが、これも過ぎると今の日本の世相のように、墮落した一面が生まれることにもなる。今の日本には、曾ての挑戦者のようなハングリ精神がなくなつてきている。私には、常にこの挑戦者魂を持つて、町づくりの方向を貧欲に追い求め、積極果敢に攻めの行政を展開してゆきたいと考えている。